



The Y's Men's Club Of Kyoto-Capital

2009 2

Bulletin

2009. 2. 1. 発行
第26巻 第8号 通巻307号

YOUNG MEN'S CLUB OF KYOTO
京都YMCA
〒600-8281 京都市中京区錦町
TEL: 075-251-1111 FAX: 075-251-1112

THE SERVICE CLUB OF THE YOUTH
ASSOCIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF YMCAs

知の創造者であり、志の達成者であり、愛の伝道者である

Our members are the best that our community has to offer

CONTACT Us at any time

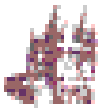
クラブ主題

Let's begin

—すべての共生に向かって—

- 副委員長 「希望の灯をともそう」 "Be the Light of Hope" 希望の灯をともそう... 1000円 (1000円)
- インジヤ委員長 「希望の灯をともそう」 "Be the Light of Hope" より高き責任の灯をともそう... 1000円 (1000円)
- 特別委員長 「期待をこえての笑顔」 "From the heart of smile" ... 1000円 (1000円)
- 事務局長 「高志を持って行動に意図します！」 "一歩一歩意図を持って..." 1000円 (1000円)
- アドバイザー 「小さな善行は大きな善行」 "小さな善行は大きな善行" ... 1000円 (1000円)

- 会 員 山 本 幸 一
- 副 会 員 中 野 英 博
- 山 田 武 洋
- 書 記 竹 田 肇 毅
- 大 橋 昌 夫
- 会 員 山 口 孝 雄



『わたしは兄弟たちに御名を語り伝え集会の中であなたを賛美します。』

(詩篇 22篇23節)



お互いさん...

地域奉仕・環境事業委員長
柳 慎 司

入会して15年、2回目のCS委員長となります。今では「地域奉仕・環境委員会」と名称も変わり前期より環境事業が加わりました。

当クラブの地域奉仕事業としては、数十年前から関わっております二大事業があります。視覚障害者の方々と「ふれあい広場」と重度知的障害者の方々と「ベテスタ祭り」はクラブ独自の地域奉仕事業です。ワイズメンズクラブはそもそもYMCAの支援を目的として生まれたクラブですからYMCAが行う活動事業を重視し協力するのは当たり前ですが、併せて地域奉仕・環境事業を通して自己研鑽を学ぶ場と考えます。

私が思うに、YMCAを通じてクリスチャニティーを知り、ボランティア精神を学び「隣人愛」が生まれます。その思いがあるからこそ地域社会に対する奉仕種が継続出来ると思っております。「地域奉仕事業」をする事により、ワイズメンズクラブの存在価値を知って頂き、ワイズを知ってYMCAを知り、YMCAを知って、ワイズを知るこの相乗効果でワイズメンズクラブとYMCAの発

展に繋がりたいものです。

京都弁の「お互いさん...」はまさに京都部における「隣人愛」と解釈しております。

Yサ・ドライバー・EMC・と色々な事業がありますが、この「お互いさん...」の思いが無ければ周年事業・部事業・区事業は何ひとつとして成功しないと思います。

さて、今期から区よりご指導を頂き、具体的に環境事業に取り組みました。まずは「CO₂削減プロジェクト」と称して、事前アンケート調査をした上で、例会・役員会参加時における自家用車の使用を控えて頂く様をお願いしております。しかし、例会・役員会の無遅刻、無欠席を重視している当クラブでは、自家用車の未使用による、遅刻はあってはならないと思い、車使用に関する「エコドライブ講座」も行いました。車未使用で例会に参加されたメンバー個々の統計を取り「CO₂削減量」としてプリテンに記載しております。

「もう環境問題での啓蒙活動の時代は終わりました...」当クラブもはじめの一步を踏み出した訳です。まさに会長主題「Let's begin」です。既に「ISO」関連で会社に於いては環境問題に取り組まれていると思いますが、家庭・個人レベルでの「環境マラソン」にもメンバー全員参加宣言をして頂きました。今年三月には個々の統計をとりますので、ご報告を頂きたいと思っております。

残り半期事業としては年賀ノギキ当選による「CS献金」と「TOF・FF」、二月第二例会は「TOF例会」としてコーヒーのみとしております。と同時に「CSアワー」と称して、地域奉仕・環境事業への関心を持って頂くような例会を行いたいと考えております。

西日本区 強調月間

2月 TOF・CS・FF

私たちが共に歩む仲間？「世界へ、アジアへ、地域へ、HIV/AIDSへ、環境へ！」私たちの持っているものを分かち合うために.....
TOF・CS・FFを！
杉浦真喜子 地域奉仕事業主任
(大阪なかのしまクラブ)

1 月 報 告	在籍者数 第一例会 メネット 特別メネット 第二例会 出席率	31名	切手 現金 0円 累計切手 0円 累計現金 0円 JWF 10,000ドル E 100ドル JWF累計 10,000ドル E F 累計 100ドル	0g 0円 0g 0円 0円 0円 0円 0円 0円 0円	第一例会 43,000円 第二例会 10,000円 累 計 139,000円	その他 0円	0円	0cc 0名 0cc 0名	1月例会 134.01kg (ペットボトル換算 32,721本) 累 計 416.13kg (ペットボトル換算 101,732本)	第一例会 6,996円 第二例会 2,526円 今期累計 40,263円 累 計 317,992円
		メネット 特別メネット 第二例会 出席率								

日原第一・時間厳守・敬禮・奉仕・苦節手取願

歴史に触れた2009年新年例会 メネット招待例会

EMC 委員長 大門 和彦

歴史を感じさせる「東華菜館」にて新年例会が開催されました。京都在住の人には馴染みの店ですが、久しぶりに行くと改めて歴史を感じます。

1926年(大正15年)ヴォーリス氏設計。スペイン風バロック様式の歴史ある建物は旧矢尾政レストランとして誕生し、現在は北京料理店。80年前から現役で活躍するエレベーターは何と!「手動式」。いつもと違った雰囲気を感じ取った者は私だけではないだろう???

80年前にタイムスリップした「新年例会」はメネット招待例会とし執り行われた。香山会長の「カミカミ」の挨拶から始まり、今やキャ



前列 山田(と)さん、正子 タルマバーランさん、香山さん、山口 弘さん
後列 岡本さん、柳さん、菅原さん、仁科さん、内廣さん、竹田さん



瀬本次期会長と次期役員の皆さん

ピタルクラブの名司会者と言われる金原さんによって進化した。美味しい北京料理を食べながら「メンバー全員が今年の抱負」を語るコーナーもあり、飲んだ勢いで「10kg もダイエットをする」と宣言したメンバーも…。

終始、和やかな雰囲気の中、無事終了!「本恵比寿」の日と重なったこともあり、多くのメンバーが「祇園の街」に消えて行ったことは言うまでもない。

1月第二例会

2009年1月20日(火)19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都

歴史を感じる半期総会

交流事業副委員長 仁科 保雄

クラブの歴史を感じさせるスムーズすぎるような半期総会であった。

私が入会した当時の総会は質問と再考を促す場面を多々経験しました。今期、創立25周年を無事経過し、クラブとしてもベテランの域に近づいたのであるか、その進行に余裕さえ感じます。

クラブの若返りがサイクルよくなされ、経験深いメンバー、そして新しく入会されたメンバーにも素晴らしい行動力がみなぎり、安心してみんなが事業をお任せできる状態になった、その証が半期総会に表わされていたように思います。

毎月行われる HA・HB などの記念品にも心の通ったものが、

メンバーに手渡され、今月は私もHBプレゼントをいただきました。香山会長のメンバーに対する温かさを感じるものでした。



今月は結婚祝はなく、誕生日の安部さん、仁科さん、村田さん、内田さん、会長を真ん中にして。

聖句の解説 「瞬きの詩人」と言われた水野源三さんは1937年、長野県坂城町に次男として生れ、元気一杯の男の子でしたが、4年生の時、弟さんと一緒に赤痢に罹りました。弟さんは治りましたが、源三さんは脳性麻痺になってしまいました。動くことも話すこともできなくなったのです。12歳の時、少し話せるようになりましたが、その時はただ「死ぬ、死ぬ」とだけ言い続けていたということです。お母さんの営んでいたお店に偶然立ち寄った宮尾牧師から聖書を贈られました。源三さんはお母さんにページをめくってもらいながら、むさぼるように読んだということです。絶望のどん底から、主の愛に生かされる生活へ変えられていったのです。

お母さんは、源三さんが唯一動かせる瞬きに気付いて、五十音表を用いながら、心の中から湧き出てくる詩や短歌を書き留めていきました。

「起床 洗顔 食事 読書 / 朝から夜までのすべてのことを / 自分では出来ない我なのに / 二十年あまりも生かされてそのうえ / 主イエス様の御救いの中に入れられており / だから / 父なる神様に感謝をせずにはいられない / たたえずにはいられない」

「一番嬉しかったのは…入院中の父が主イエスを信じてくれたこと…」

1984年47歳で天に召された源三さんの生涯は讃美と証しの生涯でした。ある人が水野さんを訪ねて、その町に行った。途中で水野さんの家はどこかと人に問うと、その人ははていねいに、教えてくれた。礼を言って立ち去ろうとした時、その人は呼びとめて「水野さんはこの町の宝です」と告げたそうです。

まことの証しの生涯です。

YMCA Weekly Messag(イウーム) 東京YMCA制作より



体力作りと何か？

石村 吉宏

「あなた、老後に趣味がないと寂しいわよ。」と妻に言われてもう何年になるでしょう。

これといって趣味もなし、近所の山へハイキングに出掛ければ、足が痛くなり、疲れて途中で電車やバスで帰り、何日も筋肉痛に悩まされる。

何年かに一度出掛けるバイクでの四国遍路も、昨年は、熱中病と疲れでぼんやりとなり、道路の側壁に接触し転倒。余りスピードが出ていなかったのと側溝が無かったのが幸いし、打撲位で助かり、無事に回り終えましたが、疲れ方が行く毎に違い、もうぼちぼちバイクで出掛けるのも終わりかなあと

感じています。

何かを始めるにもまず体力作りが必要と痛感するこの頃。ゆっくり散歩でもしながら、体力作りと何かこれから始められる事でも考えましょう。

早起きは、3億円の徳

森 繁樹

今年から、1時間早起きを始めました。6時に起きて8時に出社、就業開始一時間前の出社です。会社で一番のりの出社です。

統計上、社長の出社が早い会社は倒産の率が極めて低いということです。午前の仕事の効率は、午後の1.5倍に相当するそうで、その1時間効率的な仕事ができそうです。また朝は電話もならないので更に仕事に集中ができます。

ある講演家の話によると、最近では『早起きは三文の徳』でなく、3億円の徳だそうです。継続すれば、3億円位の価値はあるかもしれません。

年齢のせいか朝起きるのが、若い頃よりさほど、つらくなく起きられるようになった今日この頃です。

ファンド委員会主催

ファンド旅行盛り上げる

ファンド・BF 委員長 吉井 崇人

1月24・25日にファンド委員会主催で知多半島・豊浜へのファンド旅行を開催させて頂きました。

13時30分に柳工務店に集合し、クラブメンバーの二台の車、11名で知多半島・豊浜へ出発。途中、エビセンの里に立ち寄り各自買い物。私はといいますとたくさんの種類のエビセンを試食しすぎ、何が何の味なのかわからなくなり結局適当に買物カゴへ（お土産なのでこれでいいんです）。

再び旅館を目指し出発！ 到着前にスーパーヤナギでお酒を調達し、無事旅館「東西屋」さんへ到着。

宴会までの少しの時間を各自お風呂を楽しみ、18時より宴会スタート。例年は、移動のバス中も宴会らしいのですが、今年に限っては道中は禁酒！ その、反動だったのでしょうか、皆さん浴びるようにお酒を飲んでおられました。

料理の方も、フグ・フグ・フグ...で大変満足な料理でした。その後も、麻雀・雑談・熱い語り等で深夜まで楽しみました。

2日目は、これでもかという程の朝食をたいらげ一路、魚太郎（市場）へ、各自買い物、続いて野間大坊（お寺）へ参拝、セントレア空港見学、昼食を益富さんで。これまた大量の昼食を頂きお腹パンパンでINA ライブミュージアムへ行き、世界のタイルを楽しみ、京都へ帰京しました。



皆様1泊2日お疲れ様でした。そして、ファンド旅行のご参加ありがとうございました。

参加者：石倉、金原、香山、田中（雅）仁科、橋本、幡南、八木、柳、山田（隆）、吉井

日本YWCA及び日本YMCA有志一同は、ガザ攻撃に対するアピールを以下のように発表しました。

「パレスチナに大切な友人をもつ、私たち日本のYWCA、YMCAのメンバーは、2008年12月27日に開始されたイスラエル軍のガザ空爆に対して、心の底からの強い悲しさとおぼえています。長期にわたる封鎖によって疲弊しているガザに対して、圧倒的な優位な軍事力を有するイスラエル軍が行った今回の空爆においては「自衛」のための攻撃という口実は全く成り立ちません。一日の数としてはこれまでで最大の死傷者を発生させ、暴力の連鎖をさらに深め、中東和平に寄せる全ての人々の期待を裏切る蛮行にほかなりません。ガザの人々の尊い命がこれ以上奪われることのないよう、私たちはイスラエル政府に対して、以下の2点を強く要求します。

1. 空爆をはじめとする、イスラエル軍によるガザへのあらゆる攻撃を即刻中止すること。
2. ガザに対する国際社会からの人道支援が滞りなく実行されるよう、あらゆる妨害を行わないこと。

同時に私たちは、今、この困難な状況においてもパレスチナの地における平和の実現のために働いているYWCA、YMCAのメンバー、スタッフの働きに対して連帯の思いを表明します。また、日本のYWCA、YMCAにつらなる一人でも多くの方が、この状況に対して思いを寄せ、パレスチナの地における平和回復のために、祈り、行動して下さることを合わせて強く希望します。」

2008年12月29日

総主事 神崎 清一



ごめんなさい。ご訂正ください。

1月号2頁 第一例会のサブタイトル
山田英樹次期会長は、次々期会長でした。

- 2月3日(火) 第一例会
- 2月8日(日) チャリティーボウリング
- 2月14日(土) YMCA 創立120周年記念礼拝
- 2月15日(日) 堀一行さん 表彰・偲ぶ会
- 2月17日(火) 第二例会
- 2月24日(火) 役員会
- 3月1日(日) 第二回ワイズデー
- 3月3日(火) 第一例会
- 3月17日(火) 第二例会
- 3月20日(金・祝) 森の中の音楽会
- 3月22日(日) リトセンチャリティーゴルフ大会

第7回 役員会議事録

2009年1月27日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 竹の間

<報告事項>

- 西日本区
- ・東日本区大会：2009年6月13日(土)~14日(日)
大会登録費メン・メネット17,000円
場所：とちぎプラザホテル日航ノースランド帯広
 - ・YMCA東山荘ワイズ感謝デー 2009年2月21日(土)~22日(日)
 - ・神戸学園都市クラブ 15周年記念例会 2009年2月14日(土)
場所：舞子ピラ神戸 会費7,000円
- 京都部
- ・BF 献金の確認：一人当たり1,800円
3月末までに西日本区事務所に送金
 - ・第3回評議会：2009年2月15日(日) 13:00~15:00
京都 YMCA 三條本館 マナホール
 - ・京都部CSチャリティーボウリング大会 ホストクラブ、京都クラブ
2009年2月8日(日) しょうざんボウル 13:45 受付開始
 - ・第二回ワイズデー 「ロールバックマリア」ワークショップ
2009年3月1日(日) 12:30~16:00 京都YMCA三條本館マナホール
 - ・第4回森の中の音楽祭 2009年3月20日(金・祝) 11:00 受付
雨天決行 リトリートセンターにて 登録料1,000円
 - ・リトセンチャリティーゴルフ大会：2009年3月22日(日)
ジャパンクラシックカントリー倶楽部
プレー費(昼食付)15,000円 会費6,000円
- Y M C A 報告
- ・創立120周年記念礼拝と会員懇談会 2009年2月14日(土)
第一部 記念礼拝 聖公会聖アグネス教会(烏丸通下立売角)
 - ・第二部 京都 YMCA 125年を語ろう 平安会館 会費2,000円
 - ・故堀一行さん京都府青少年健全育成成功労者等表彰ご受賞
ご報告と偲ぶ会 2009年2月15日(日)
京都 YMCA 三條本館 マナホール、ロビー 会費2,000円
礼拝 16:00~16:30 偲ぶ会 16:40~18:00
 - ・夜桜フェスタ・YYフォーラム 2009年4月19日
京都 YMCA リトリートセンター
 - ・第5回京都 YMCA かもがわチャリティーラン
2009年5月17日(日) 9:00~15:30 鴨川公園

三役報告

- ・ウエストクラブ合同花見例会の場所・日程について
2009年4月7日(火) 聖護院御殿荘 会費6,000円

<各事業委員会報告>

- Yサ・ユース
- ・YMCA かもがわチャリティーラン等下期事業について
- 地域奉仕・環境
- ・CS 献金・FF 献金
ワイズデーへの積極的参加協力について
- ドライバー
- ・合同花見例会等
4月までの例会内容について
- 交流
- ・IBCベゼルクラブ交流事業
について
- ファンド
- ・BF ファンド・ジャンパー
ファンドの件
- 広報・プリテン
- ・2・3月号の記事依頼について
- E M C
- ・忘年会と例会出席状況について
- 25周年実行委員会
- ・記念誌発行スケジュールについて



訃報



かねてから病氣療養中の東京クラブ・辻村克己氏は、1月14日(水)午前6時5分にご逝去。享年88歳。

辻村さんは1948年に東京クラブに入会。1953年には東京山手クラブ設立に尽力されて、チャーターメンバーとして移籍。その後東京西クラブを経て東京クラブに戻られ、その間1969年に南東部部長、1973年に日本区書記等を歴任され、エルマークロー賞(1970年)、東日本区奈良傳賞(2003年)を受賞。辻村さんの60年にわたるワイズダムへのご奉仕に感謝し、心よりご冥福をお祈りいたします。

クラブから生花と弔電を差しあげました。DBCで何度か京都に来られていました。

京都 YMCA 創立120周年会員集会

- 日時 2009年2月14日(土)
第1部 記念礼拝 午後4時~4時40分
於：聖公会 聖アグネス教会
第2部 テーマ「京都 YMCA 125年」を語ろう
午後5時~6時30分 於：平安会館

京都 YMCA は、この120年を機に YMCA では、5年後の125周年(2014年)に向けて、私たちの「京都 YMCA のあるべき姿」を「PLAN 125」として構築すべく取り組みはじめています。このプランは、YMCA の使命を果たすべく方向性を探り、事業、組織の有り様などを「公益法人制度改革」を考慮しつつ、検討し構築するものであります。この創立記念集会、5月に行われます総会、京都青年をはじめ適時ご報告し、皆様と共に策定いたします。

第7回 パープル会を開催

- 日時 2008年11月24日(月・祝)
会場 日清都カントリークラブ
参加者 橋本・石倉・柳・山田(隆)・香山・幡南・八木・川勝(八木ゲスト)
優勝 香山さん

会長・幹事の改選が行われ以下の通り決定

- 会長 橋本さん
幹事 香山さん・八木さん

HAPPY BIRTHDAY

メンバー

柳 慎司	2. 7	吉井 崇人	2. 11
竹田 博和	2. 14	森 繁樹	2. 20
石倉 尚	2. 24		
メネット			
仁科 節子	2. 2	内田 直子	2. 6
神山 陽子	2. 19	瀬本 吉美	2. 28
コネット			
山田麟太郎	2. 2	菅原 啓人	2. 12
金原 拓未	2. 21	柳 真之	2. 25
村田 亜紀	2. 27	山口 愛乃	2. 27

HAPPY ANNIVERSARY

勝山廣一郎・憲子	ご夫妻	2. 4
山田 隆之・まゆみ	ご夫妻	2. 18
岡島 脩雄・智子	ご夫妻	2. 22
内田 雅彦・直子	ご夫妻	2. 23

年間活動目標 PR

大衆が何を求めているのかを的確に捉え、現代の理想社会に必要とされているものがワイズの精神であるということ。一人でも多くの方々に知って頂きましょう。

中瀬 清彦 広報委員長
[事務局スタッフ]